## 第40回新型コロナウイルス感染症対策本部会議要旨(速報)

○実施日時/令和3年7月9日 13時50分~14時10分

## ○発言要旨

議事	発言
次第1「本市の医 療体制について」	※ 資料に基づき、健康福祉局から説明を行った。
次第2「ワクチンの接種について」	※ 資料に基づき、健康福祉局から説明を行った  【本部長】 ・例えば6月21日の週は1回目と2回目の接種が7万5千以上だが、翌6月28日の週になると6万7千ほど。これはVRSへの入力の誤差の範囲と見ていいのか。 【健康福祉局】 ・VRSの誤差の範囲というのもある。また、個別の接種機関からオーダーを頂くワクチン量に多少波があり、6月21日の週はやや多くワクチンを供給している週だったと思っている。 【高津区】 ・若年層のワクチン接種に対する希望が中々伸びていないのではないかという分析がある。それによって、例えば高津区では交通の結節点で都内からの労働者の帰宅が多い場所でもあるため、時間延長などの体制を組めるのではないかと考えている。それをもってワクチン接種が広がれば市民の安全確保や保健所の負担が解消されるものと期待される。今後もワクチン調整室を中心にこういった相談に乗って頂きたい。 【本部長】 ・御指摘の通りだが、スペース的な問題だけでなく医療スタッフなどの総合的な調整が必要になるなどの課題がある。できる限りの調整は進めているので、また相談させて頂きたい。
次第3「まん延防 止等重点措置の期間延長に伴う本市 行政運営方針について」	<ul><li>※ 資料に基づき、事務局から説明を行った。</li><li>【本部長】</li><li>・これに関してよろしいでしょうか。特になければこの方針で行きたいと思います。</li></ul>
その他	【健康福祉局】 ・資料に基づき、『新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請受付を開始します』について説明を行った。  【本部長】 ・他になにかありますか。 【市民文化局】 ・オリンピック開催に伴う英国代表チームの感染症対策について報告する。予定通り7月3日から8月2日にかけて事前キャンプを行う。まずイギリス側では入国前に14日間の隔離生活、5回のPCR検査を実施した上でワクチン接種を行

う。入国後は毎日 PCR 検査を実施し、専用車両での移動、登録された場所以外に立ち寄らない行動管理を徹底して行う。我々ホストタウン側も従事者の健康管理の他、PCR 検査を定期的に実施している。陽性者が出た場合などは神奈川モデルで症状に応じて搬送先が指定されることになっている。通常の疾病対応は事前に横浜市内の病院を中心に受け入れ可能な医療機関の調整を行っている。今後も関係各局と情報共有しながら引き続き感染症対策を行っていく。

## 【本部長】

・他なにかありますか。なければこれで終了します。

以上